

令和6年度病害虫防除技術情報 第13号

令和6年8月30日
三重県病害虫防除所

**ミナミアオカメムシがダイズで増加しています。
莢伸長期と子実肥大期の2回防除に努めましょう。**

1 対象作物：ダイズ

2 対象病害虫名：吸実性カメムシ類（ミナミアオカメムシ）

3 発生状況

- (1) 農業研究所（松阪市）の畑の予察灯におけるミナミアオカメムシの誘殺数（8月第5半旬）は267頭（平年234頭）とやや多い状況です（図1）。
- (2) 1か月予報（8月29日・名古屋地方気象台発表）によると、向こう1カ月の気温は高い見込みで、吸実性カメムシ類の活動に好適な状況が続くことが予想されます。

4 防除対策

- (1) 吸実性カメムシ類による子実の被害を防ぐため、莢伸長期（開花20日後）と子実肥大期（開花40日後）の2回防除に努めましょう。
- (2) 吸実性カメムシ類は移動性が高いため、無人ヘリなどによる広域一斉防除がより効果的です。
- (3) 薬剤抵抗性発達の回避のため、異なる系統の薬剤のローテーション使用をしてください。
- (4) 薬剤は三重県農薬情報システムで検索することができます。
(<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>)

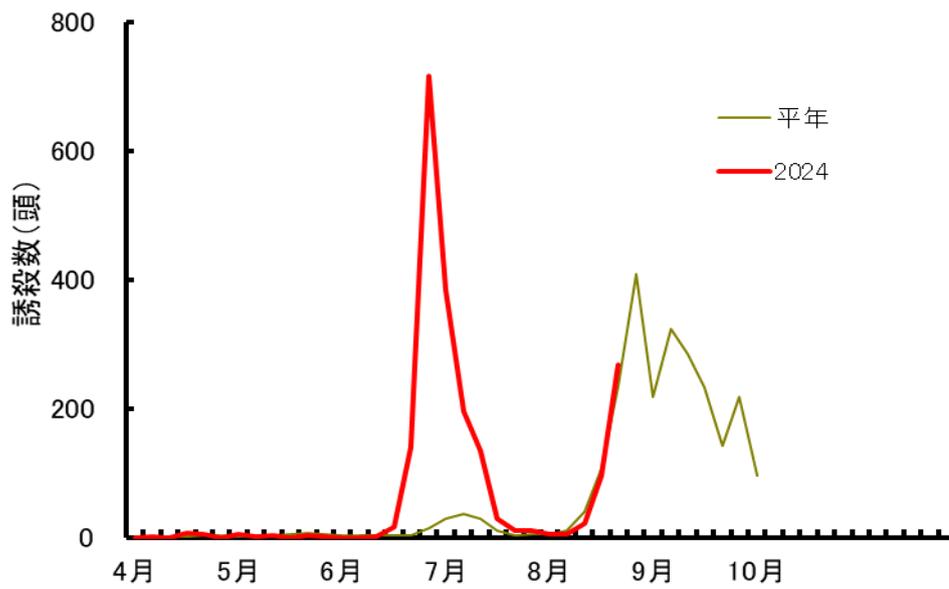


図1 畑予察灯のミナミアオカメムシ誘殺数(松阪市)



写真1 ミナミアオカメムシの幼虫(左)と成虫(右)

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。

予報発行時のeメール連絡サービス(病害虫情報メール)の登録はこちら↓

